

6月りんご生産情報

令和6年6月5日発行
J A つがる弘前
岩木地区営農係

りんごの肥大状況は平年をやや上回っております。現在仕上げ摘果の時期ですが、結実にバラつきが見られることから、品質を見極め適正着果に仕上げましょう。

今後はハダニ類の発生時期となりますので、発生初期に防除を行いましょ。腐らん病の発生が多く見受けられます。見つけ次第適切に処置しましょう。

○肥大状況について（月日現在：単位cm）

地点	つがる		ジョナ		王林		ふじ	
	本年	昨年	本年	昨年	本年	昨年	本年	昨年
小沢	2.7	2.6	2.4	2.3	2.5	2.6	1.9	1.9
五代	2.5	2.6	-	-	2.5	2.7	2.5	2.6
百沢	2.1	2.0	2.4	2.2	2.3	2.2	1.9	1.8
東目屋	2.1	2.2	2.0	1.9	2.1	2.0	1.7	1.7
西目屋	1.5	1.3	1.9	1.5	-	-	1.7	1.2
農協平場平年値	1.9		2.0		2.0		1.7	

○仕上げ摘果について

7月上旬頃に新梢の伸びが止まって葉の枚数が決まると、その年に作られる養分量が決まります。

しかし、着果量が多いと果実肥大に養分が偏り、花芽形成、幹の太り等に養分が行きわたらなくなることから、養分の分散を防ぐためにも7月上旬をメドに仕上げ摘果を終わらせましょう！

充実した果そうとは？

果そうの葉の枚数が多い
果台が太く詰まっている
副梢がある



○袋掛けについて

袋掛け前に着果量を確認し、7月10日頃までに袋掛けを終えるようにしましょう。殺菌剤散布後5日以上経過した場合はオーソサイドなどの殺菌剤で実洗いを実施しましょう。また農協では、高温障害の軽減が期待できる、外袋が灰色の袋も取り扱っています。【銀河2重袋8.5切・8切：銀河3重袋5切】

○薬剤散布

臨時りんご生産情報のとおり、7月初めの基準散布を適期（7/5頃）に散布できるよう散布計画を見直しましょう。

シンクイムシ類の防除時期となるため、6月中旬以降は毎回防除剤を使用しましょう。

回数 (散布量)	散布時期	薬剤名及び調合順序 (剤型)	倍数	1,000 当り薬量	防除上の注意
～ 5 回目 特別 散布 ～					
6 (420)	ふじの落花 20日後頃	デラン (FL) ダイアジノン(水) クレフノン カルマツチ	1,500倍 1,000倍 100倍 770倍	333ml×2本 500g×2袋 10kg×1袋 1.3kg×1袋	
6/5頃					
7 (500)	ふじの落花 30日後頃	ラビライト (水) サイアノックス(水) クレフノン カルマツチ	500倍 1,000倍 100倍 770倍	1kg×2袋 500g×2袋 10kg×1袋 1.3kg×1袋	アブラムシが発生した場合は、ウララ、コルト、トランスフォームのいずれかを加用しましょう。
6/15頃					
8 (500)	ふじの落花 40日後頃	ジマンダイセン(水) モスピラン(顆粒水) ダニオーテ(FL) カルマツチ	600倍 4,000倍 2,000倍 770倍	1.67kg×1袋 250g×1袋 250ml×2本 1.3kg×1袋	
6/25頃					
9 (500)	7月初め	オキシンドー(水) アーデント(FL) カルマツチ	1,200倍 2,000倍 770倍	835g×1袋 250ml×2本 1.3kg×1袋	モモシンクイガの重点防除時期ですので、ピレスロイド剤(アーデント、サイハロン等)を使用し対策しましょう。
7/5頃					

令和6年産りんご予約受付中です！ 1箱でも多い予約をよろしくお願いいたします。